

全国初のハイブリッド整備士認定資格制度を創設!!

福岡県自動車整備商工組合は福岡県自動車整備振興会と合同でハイブリッド車の知識・整備技術の向上を目的とした「ハイブリッド整備士認定資格制度」を全国で初めて設立し、5月23日（日）、福岡地区での修了式が自動車整備振興会館で行われ、20名のハイブリッド整備士認定資格者が誕生した。ハイブリッド車の普及が急速に進む中、独自の資格制度を設立することで、一般ユーザーの組合員工場に対する安心感や信頼性を高めている。



福岡県自動車整備商工組合
理事長 内山 邦彦



全国に先駆けてハイブリッド整備士 認定資格に取り組んだきっかけ

2009年の新規登録乗用車車別の販売台数でプリウスがトップになるなど、ハイブリッド車の普及には目覚ましいものがある。

一方、ハイブリッド車の点検・整備はディーラーというイメージが多くのお客様に定着しつつある。このような状況の中、ハイブリッド車に対してもお客様が安心して点検・整備をご依頼いただけるように、当組合ではハイブリッド車に特化した整備士認定資格制度を独自に創設することとなった。

ディーラーなど各企業で独自の基準を設けて制度化しているケースはあるが、第三者機関が専門研修を行い認定する制度は全国的に初めてとみられる。



お問合せ先

組合名：福岡県自動車整備商工組合

理事長：内山 邦彦

住 所：福岡市東区箱崎ふ頭6丁目7番16号

T E L：092-641-3171

充実した研修内容

研修内容はトヨタ「プリウス」、ホンダ「インサイト」の構造及び商品知識、ハイブリッドバッテリー脱着作業、低圧電気取り扱い安全教育など40時間に及び、学科試験も含まれている充実の内容。受講定員が20人であつ、先着順で申し込みを受け付けたこともあり、受付開始日には受講希望者が始業前から列をなすなど、同資格制度に対する組合員からの感心の高さがうかがえるものとなった。行列の先頭だった県内大手

整備工場の職員は、前日の夜10時から並んだという。

受講申請者のひとは、「ハイブリッド車の販売が急増するなか、今後、工場への入庫も増えている。ただ、専門者はディーラーとは違い専門的な研修を受ける機会が少ない。今回、組合や振興会がこうした研修を行うということで、ぜひとも受けたいと思った」と語った。

今後も筑豊地区、北九州地区、筑後地区の順で研修を開催し、今年度内で計80名の認定資格者が誕生する予定である。



社団法人福岡県自動車整備振興会・福岡県自動車整備商工組合からのお知らせ

定期点検は使用者の義務です！

クルマの安全性を確保し、公害を防止するよう管理するのは、使用者の義務です。乗用車等は一年ごと、貨物車は6ヶ月ごとに定期点検を受けましょう。(道路運送車両法48条)

愛車の定期点検整備はFASのマークの整備工場で！！

FASエコキャンペーン実施中！！

期間：平成22年4月1日から平成23年3月31日

詳しくは最寄りのFASマークの自動車整備工場か社団法人福岡県自動車整備振興会「FASエコキャンペーン係」(TEL 092-641-3172)までお問い合わせください。

